

伊豆鳥島 平成17年（2005年）年報

○ 平成 17 年の概況

硫黄山火口で弱い噴気、海岸付近で変色水が確認されましたが、火山活動の活発化を示す様子はみられませんでした。

○ 火山情報の発表状況

火山情報発表はありませんでした。

○ 嘔気の状態

3月9日及び11月14日に海上保安庁が上空から行った観測によると、硫黄山火口の南側火口壁から弱い噴気が確認されました。噴気は火口付近の2ヶ所からごく薄く立ち上っていました。伊豆鳥島で噴気が確認されたのは2004年8月25日以来です（2004年10月12日の観測では確認されませんでした）。

○ 変色水の状況

前述の観測で、海岸付近に変色水が確認されました。3月の観測では、島の北岸船見岬付近で薄い緑色変色水を、南岸三ツ石付近で黄緑色変色水が確認されました。11月の観測では、島の南岸の燕崎から三ツ石にかけて黄緑色の変色水が確認されました。これらの変色水は火山活動の高まりを示すものではないと考えられます。

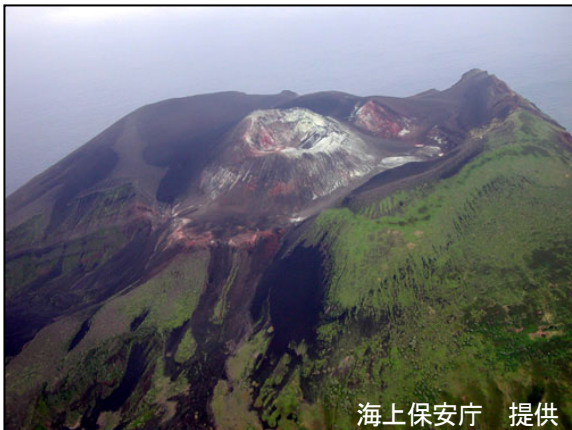


図1 伊豆鳥島 硫黄山火口
(2005年11月14日、北西上空から撮影)



図2 伊豆鳥島 燕崎～三ツ石にかけて確認された
変色水（2005年11月14日、南上空から撮影）

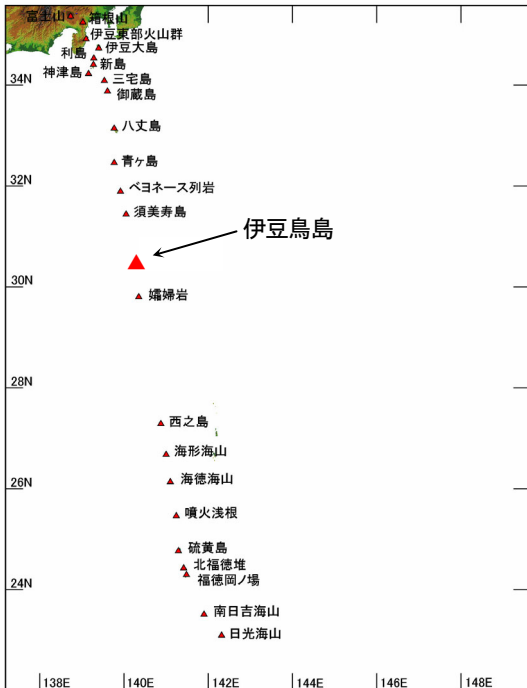


図3 伊豆・小笠原諸島の活火山分布と伊豆鳥島

※この資料は、海上保安庁のデータ等を利用して作成しています。